

の世界と確実に共振した。吉田鋼太郎の沸騰するエネルギー、麻実れいの妖艶な演技も見事だった。06年には、この舞台はRSCが英国で開催した世界シェイクスピア・フェスティバルに参加した。

「悲劇」に定評のある蜷川がここ数年、男優だけで演じられる「オールメール・プロダクション」の手法で、喜劇『お気に召すまま』(04年)、『間違いの喜劇』(05年)、『恋の骨折り損』(07年)を次々に演出して成果を上げていることも特筆に値する。

これは女優が存在しなかったシェイクスピア在世当時のエリザベス朝演劇に回

帰する方向性を持つと同時に、若い美形の男優たちが女形になることで華やかな芸能性が輝く作品群でもある。小栗旬、成宮寛貴らが人気を集めたこの喜劇シリーズは、蜷川演出にとっては新しい領

分の開拓にもつながった。今でも喜劇が得意分野とはいえ難い蜷川幸雄だが、魅力ある男優たちとの共同作業によって、彼は喜劇の高いハードルをうまく越えつつあるように思われる。

速報!!

2008年第19弾『リア王』に続き
この秋、喜劇『から騒ぎ』を
オールメール・シリーズ第4弾で

彩の国シェイクスピア・シリーズの第20弾は『から騒ぎ』。

この作品はシェイクスピアの喜劇のなかでも、とりわけ祝祭性に富み、傑作との呼び声も高い。大好評のオールメール・シリーズでの上演。

Play Schedule 2008.3 - 2008.8

2008年も演出家・蜷川幸雄は疾走し続ける。第20弾に突入するSSSの意欲的な公演、昨年話題をさらった「さいたまゴールド・シアター」に加え、いよいよ『ガラスの仮面』プロジェクトの本格的始動に目が離せない。

3

MARCH

さいたまゴールド・シアター “Pro-cess 3”



『鴉よ、おれたちは弾丸をこめる』の興奮再び!

次回、ゴールド・シアターの稽古場公演は、清水邦夫作『想い出の日本一萬年』に決定。この作品は1970年、清水×蜷川コンビで『鴉よ〜』に先駆け現代人劇場によって上演された。蜷川にとっても“想い出”深い作品だ。2006年12月の『鴉よ〜』で熱い舞台を繰り広げたゴールド・シアターが蜷川とともに再び清水作品に挑む。

.....PLAY.....

さいたまゴールド・シアター “Pro-cess 3” 想い出の日本一萬年

【日時】3月27日(木) 開演 19:00、28日(金) 開演 19:00
29日(土) 開演 13:00/18:00、30日(日) 開演 13:00

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 大稽古場

【作】清水邦夫 【演出】蜷川幸雄 【出演】さいたまゴールド・シアター

【チケット(税込)】全席自由 1,500円

【発売日】一般:2月9日(土) メンバーズ:2月2日(土)

速報! ゴールド・シアター第2回公演が6月に予定。演目は後日発表。

8

AUGUST

ガラスの仮面



イラスト: © 美内すずえ/白泉社

『ガラスの仮面』プロジェクト始動!!

シェイクスピア・シリーズ、ゴールド・シアターと並ぶ、蜷川幸雄演出の新企画ファミリー向け音楽劇『ガラスの仮面』を上演する。原作は演劇漫画の傑作として、国民的な人気を誇り、過去にテレビドラマや舞台劇にもなっている。主役の少女二人はオーディションで選ぶ。全国や海外からも含めて2,300人以上の応募があり、書類審査・面談を経て200人が蜷川幸雄の待つ予選へと進むことになった。今月末の本選を経て栄冠を手にするのは誰なのか?

.....PLAY.....

音楽劇 ガラスの仮面

【日時】8月

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

【原作】美内すずえ

【脚本】青木 豪

【演出】蜷川幸雄